

平成24年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成23年8月8日

上場取引所 大

上場会社名 アビックス株式会社
 コード番号 7836 URL <http://www.avix.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部 本部長
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 熊崎 友久
 (氏名) 桐原 威憲

TEL 045-670-7720

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	172	3.6	52		51		52	
23年3月期第1四半期	166	2.4	52		53		53	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	225.14	
23年3月期第1四半期	273.77	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	1,282	369	28.8
23年3月期	1,285	421	32.8

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 369百万円 23年3月期 421百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期		0.00		0.00	0.00
24年3月期					
24年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	431	8.4	49		49		50		216.42
通期	1,145	10.7	20		20		19		82.24

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	231,028 株	23年3月期	231,028 株
24年3月期1Q	株	23年3月期	株
24年3月期1Q	231,028 株	23年3月期1Q	195,803 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期財務諸表等	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報等	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国の経済は、本年3月11日に発生いたしました東日本大震災および原子力発電所事故の影響により、企業活動の停滞、個人消費の低迷など経済活動が急激に落ち込む状況の中推移いたしました。先行きについても、電力供給の問題や風評被害、円高の進行による輸出環境の悪化など、依然として不透明な状況が続くことが懸念されます。

このような環境の中、当社はマーケットが拡大しているプロモーションメディアであるデジタルサイネージを絞り、安定的な収益基盤となる映像コンテンツの制作・配信やメンテナンスの運営事業、ix-boardやレンタルといったアセット事業の展開を図ってまいりました。

情報機器事業につきましては、上記のようなことを背景に、設備投資の抑制、販促活動の自粛など厳しい状況で推移した結果、業績は昨年同期と比較して横ばいとなっておりますが、関東・東北以外の顧客への営業活動を強化しており、第2四半期以降の受注に繋げております。特に、大型ネオンと比較すると電気量が10分の1程度となり、節電、省エネ効果も高い当社の特許製品ポールビジョンは、現場での評価も高いため、今後の拡大販売が見込まれております。

運営事業につきましては、映像コンテンツ収入やメンテナンス収入の主力マーケットであるパチンコ業界が、震災後の輪番定休や営業時間の短縮、販促活動の自粛から表示機の稼働率が低下したため減収となりました。このような状況を打破するため、主に店舗内のデジタルサイネージ向けに、映像コンテンツが簡単かつ迅速に作成できるシステム「TemPo(テンポ)」を開発し、サービスを開始いたしました。数あるテンプレートの中から、作りたいイメージ合うものをダウンロードし、画像と文字を入れるだけで誰でも簡単にオリジナルムービーが作成できる仕組みであり、今後の業績に寄与するものと考えております。

アセット事業のレンタルにつきましては、既存顧客からの継続的受注がスポーツマーケットでの認知度を高め、新規顧客の獲得に繋がりました。ix-boardにつきましては、省電力であること、最新のニュースがリアルタイムに放映できることから、震災後は特に、地域の方々に役立つ情報ボードとして注目を集める結果となっております。

以上の結果、売上高172,831千円(前年同期比6,057千円増)となり、営業損失52,439千円(前年同四半期は営業損失52,991千円)、経常損失51,777千円(前年同四半期は経常損失53,295千円)、四半期純損失は52,014千円(前年同四半期は四半期純損失53,605千円)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

1. 資産、負債および純資産の状況

(資産)

流動資産は、前事業年度末比18,937千円増の927,789千円となりました。その主な要因は、売上債権の回収により受取手形及び売掛金が減少する一方で、仕入債務の支払により現金及び預金がほぼ横ばいになったことと、今後の販売案件に備えて仕入及び生産を行ったために一時的に商品及び製品、原材料及び貯蔵品が増加したことによるものです。

固定資産は、前事業年度末比21,661千円減の355,171千円となりました。その主な要因は、レンタル資産の販売と減価償却によるものです。

(負債)

負債合計は、前事業年度末比49,290千円増の913,600千円となりました。その主な要因は、たな卸

資産の仕入及び生産を行ったことにより、仕入債務である支払手形及び買掛金が増加したことと、広告媒体収入の年間契約料を受領したことにより、前受収益が増加したことによるものです。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末比52,014千円減の369,361千円となりました。その主な要因は、四半期純損失の計上によるものです。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の業績予想につきましては、平成23年5月13日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、当社の情報機器事業は、大型案件の納期が年度末に集中することから、売上高が第4四半期会計期間に偏重する傾向があります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当第1四半期累計期間において、営業損失、経常損失及び当期純損失を計上する状況を解消できていないことから、将来にわたって事業活動を継続するとの前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

当社は、この状況を解消するために、経費の削減、業務の効率化、安定収益事業への変革のため策定したアビックス三ヵ年計画を押し進めており、計画通りに進捗しております。今後も月次での安定収益を拡大していくことで、当初の目的である「大口受注が無くても安定的に黒字化を実現するアビックス」を達成できると考えております。

また、親会社であるジャパン・ブレイクスルー2004投資事業有限責任組合を無限責任組合員として運営管理しており、当社が事業サポートを受けている株式会社JBFパートナーズにおいても、今後の事業方針については、十分な理解を頂いており、共に事業発展を目指すことが出来るものと考えております。

4. 四半期財務諸表等

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	276,677	275,426
受取手形及び売掛金	233,384	137,460
商品及び製品	285,327	340,778
仕掛品	328	2,635
原材料及び貯蔵品	102,586	140,340
その他	10,995	31,267
貸倒引当金	447	119
流動資産合計	908,852	927,789
固定資産		
有形固定資産		
車両運搬具(純額)	1,109	993
工具、器具及び備品(純額)	92,433	91,292
レンタル資産(純額)	189,815	164,009
リース資産(純額)	25,343	28,050
有形固定資産合計	308,701	284,345
無形固定資産	3,168	5,979
投資その他の資産		
その他	65,477	65,361
貸倒引当金	514	514
投資その他の資産合計	64,963	64,847
固定資産合計	376,833	355,171
資産合計	1,285,685	1,282,961
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	94,788	130,518
1年内償還予定の新株予約権付社債	350,000	350,000
未払法人税等	3,925	1,233
製品保証引当金	326	364
その他	51,288	66,075
流動負債合計	500,329	548,191
固定負債		
新株予約権付社債	350,000	350,000
その他	13,980	15,408
固定負債合計	363,980	365,408
負債合計	864,310	913,600
純資産の部		
株主資本		
資本金	921,376	921,376
資本剰余金	517,286	517,286
利益剰余金	1,017,287	1,069,301
株主資本合計	421,375	369,361
純資産合計	421,375	369,361
負債純資産合計	1,285,685	1,282,961

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	166,774	172,831
売上原価	89,341	97,326
売上総利益	77,432	75,505
販売費及び一般管理費	130,423	127,944
営業損失()	52,991	52,439
営業外収益		
受取賃貸料	51	51
受取手数料	-	392
違約金収入	-	308
その他	-	86
営業外収益合計	51	838
営業外費用		
支払利息	233	153
社債利息	83	-
その他	38	22
営業外費用合計	354	176
経常損失()	53,295	51,777
特別利益		
貸倒引当金戻入額	561	-
製品保証引当金戻入額	1,241	-
その他	158	-
特別利益合計	1,961	-
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	2,034	-
特別損失合計	2,034	-
税引前四半期純損失()	53,367	51,777
法人税、住民税及び事業税	237	237
法人税等合計	237	237
四半期純損失()	53,605	52,014

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【事業の種類別セグメント情報】

当社は電子広告看板の製造、販売、運営及びアフターサービスを主な事業とする単一セグメントであるため、事業の種類別セグメント情報は記載していません。

【所在地別セグメント情報】

当第1四半期会計期間において、本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

当第1四半期会計期間において、海外売上高がないため、該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。